Director-Redactor-Chefe:
SHUHO NAKANISHI
Redacção: Av. Brig. Luiz Antonio, 26

NIPPON SHIMBUN

14 de Setembro de 1932
N35

聖州義塾 中西

São Paulo
Caixa Postal 2273

ブラジル・サンパウロ市
日本新聞社
編輯兼發行人 中西周甫

購讀料
一ケ年三〇ミル

不徹底なる農産加工

紫峰生

珈琲界の極度の不況は一般稲民者をして俄かに復式農或は多角的經營に轉回するの機運を醸成した。而して此の標語は今更らの如く頗る耳寄りな眼新しいものかの如くに植民者を眩惑し之の經營法を除いては局面打破の方策なきかの如く滔々として一夜造りの新案に走らしめた。其時に於て一方聲高らかに自給自足と云ふ看板を眞向から振りかざして時代の指導者顔した連中が多かつた。

勿論復式のう又は多角的經營法の必要なる事は當時の情勢が明瞭に証明し時已に其の秋に到達して居つた。然るに實際化されたる結果はむしろ消極的經營に急に轉回して從來傷けたるのみならず同市の放慢なる經營の缺陥を彌縫曾を爆撃して婦人一名より兒遡つて改善されたるものはその僅かの部分に留まり一時心すいした轉回策も格別の成績を示して居らぬ。珈琲單一さくの全組織から急激に轉回するにはそれ相當の準備と資金を要する。不幸にして當時それだけの余裕を捻出する事は頗る困難であつた。然し確かに幾分ながら總じて努力した結果今日に至つてはそれ相當の業績を殘して居る。自足經濟主義は不況時に於てはのう業者も必要に迫られて實行に着手したが一旦懐具合が多少でも緩和されれば忽にして沸湯の苦を忘れてしまひ勝ちである。眞の自足經濟主義に徹したる經營法に立ちて全機關が運ようされる時に事業が如何に多く利益するかを先づ學ぶ事を要する。

最近各方面に於て頻に産加工の有利が唱導されて居る。而して盛にその施設を現出しつゝある。自然の趨向で當然來る可きものが今日到達した肝腎要の技術工の養成を跡廻しにして居る大なる欠陥がある。現今のう産加工に實地の經驗と自しんある者果して幾人ありや。

工場は資金を投じて大急ぎでの必要なる時は必らずその上廻れば造さなく竣成するだらう、併しその運よう者即ち之等加工場のさ業能率を上ぐるに最も必要なる技術者は求むるまゝに得らるゝか頗る疑問である。

學理的の識見を有しその講義をする人は敢て不足して居らぬ、否むしろ此等專門的の學業を履修した人材は同胞社會だけでも實は已に多過ぎて困つて居る位である。問題は此の最高幹部や首腦技術者を要求しては居らぬ。

實地に働き實地に仕事する働き人を要するのである。頭腦で働く人でなく手足を動かし身体を働かして立派な加工品を仕上げて呉れる勞働者が欠けて居るのである。然も余りに分業化した專門的技能の所有者でなく、一種の加工事業の何の仕事をさしても出來る人、換言すればバーニヤを扱るにしても屠殺から仕上げまで調子よくなし得る手腕を有する人を要求するのである。それ程現在の同胞の加工業は未だ小規模であり家内工業の域を脱しない時代であるから

中央政府軍の暴狀を訴ふ

中央政府軍は護憲軍討伐に種々苦心して凡ゆる手段を執つてゐるが獨裁軍の一飛行機は八日中央線シルベイラの國道を通行中の貨物自動車を機關銃にて射撃し數人の婦女子を傷けたるのみならず同市の教曾を爆撃して婦人一名より兒一名に重傷を負はせた、此の報一度聖市の新聞に報ぜられ善後策を講ずる事に決しりオの同協會を通じて直に中央政府に對し嚴重抗議を發し、た方ジュキーブの國際聯盟に對し此の中央軍の暴狀を現場の眞を添へて詳細報告し中央政府軍の執れる一切の戰時逆反行爲を訴へる事に決した由。

北伯相應じて起つ

今や聖州の熱烈なる護憲運動と共に北伯諸州に於ても時局の推移に多大の注意を拂ひ既に各ちに護憲軍側に好意を寄せ時機の到るを待ちつゝあつたが五日パラ州に於ても終に軍隊の叛亂起り聯邦執政官バラタ・マガリヤンエス少佐は遂に政權を放棄して姿を隱すに至つた爲めサンクト・クライル中尉之を襲ひ政權を掌握するに至つたと、又七日ペルナンブコ州首府に學生の暴動起り終に聯邦執政官との間に衝突を惹起するに至つた。

沈默の將軍は語る

七日の伯國獨立紀念祭の當日護憲軍總指揮官イジドロ將軍は往訪の葡字紙記者にたいし次の如く語つた。

余の意見としては時局は言論や講演の時期でなく實に吾人は聖州軍の必勝を期して邁進すべき秋である

晨にサンパウロ商業組合の發起で一般に貴きん屬類の獻納を求め護憲政府の發行に係るボーナスの準備に充てる事になつたところ頗る好成績を示

「貴金屬獻納」の宣傳ポスター展

しつゝある事は既に周もの通名の中十六名に上り、之れにりだが、同組合では今次の計劃し民政系の復活八名、新進書の徹底を期する爲め先般來拔擢八名と云ふ割合になつてその宣傳ポスターの圖案を民居り前內閣以來全く居据りの間有志に募集しておつたとこ被免者は大体に於て政黨色ろ之を赤慷想外に秀逸なるさ濃厚なる者又は能力の點に於て五日から同會ほん部で一般のて疑ひのあつたもので、復活觀覽に供してゐる。さく品は阿部茂太、本部に於ては民政系中には阿部茂太、審さの上にう選ポスターを印山口石川縣大阪の如き札付刷に附して廣く配布する事にもあるが比較的循吏が多いと決した。出品の內百六十一枚云はれて居る、而して內務省は聖市の專門圖案家の筆になつたものであると。

尙同組合で今日迄受領した市民及奥ち人士より寄贈したアリヤンサの指輪と記念指輪と交換の目的で提供したもの貳萬四千個に達してゐる。

地方長官大異動

政友系犧牲十六 民政系復活八

中直に資金化し得るものが問題となる　第二にその資金化街地しんよう組合の如きに在し得るものに亞いで考慮せらりては　その組合員外貯金の場合は組合員の責任引受限度拂戻しの担保として積立たる預金所有公債等に就てはその全額を無手數料にて負擔致し即ち郷里の受取人へ御送金封入、郵便爲替又は現金書留にて當店へ御送り下度銀行小切手にて當店へ御送り下度猶橫濱正金銀行拂定として

Banco Commercial do Estado de São Paulo
又は御便宜の方は
Banco Noroeste do Estado de São Paulo
へ御拂込被下候でも差支無之候

四、何れにしても送金申込書は必ず忘れずに當店へ御送り下されたく候

定期預金利息六ヶ月以上四分二厘
日本伯伯
貨定期預金（小口）當分取扱不申
當店にて受取る換算可仕候
內地郵便爲替料
總て日本郵便爲替料
留置料其他一切
全く無手數料にて負擔致し即ち郷里の受取人へ御送金封入、郵便爲替又は現金書留にて當店へ御送り下度猶橫濱正金銀行拂定

産業組合

五

其の資金を他より借入るゝ場合は普通の金融機關にては多く担保を要求せらるゝが故に組合は更に組合員より担保を動員しなくてはならない　故に外部より担保信用を余儀なくせらるゝならば組合員に對して担保信用を以てしなくてはならなくなる

信用組合の理想的信用を行はんとすれば其の信用取引は系統的信用機關即ち信用組合の聯合体又はその中央信用機關でなくてはならない　隨つて信用組合は其の必要とする資金をその組合員の責任引受限度を基礎として何時にても信用を得るが爲めにその自己の加入せる上級聯合体と常時取引をなしその組合の余裕資金は常に上級機關に預入れ資金の必要なる時は必らずその上級金融機關より借入るゝことゝしその間の取引は他の金融機關に關係せざる事を理想とする事に依り組合はその資産負債狀態の全体をよく上級の聯合体に知らしめて置く事が出來る之に依り速に對人信用を求める事に依り組合は專屬取引は單に借入金の場合のみでなくその貯金の場合に於ても同樣である　信用組合の貯金は凡て聯合体に注入する事に依り組合はその資産負ものが外部に對するしんよう限度となる　此のしんよう限度を由ちしんようは若し之を裁判をして爭へば必らず取り得る財産である　第一に評價す可き組合の信用組合の內容を常に上級信用聯合体に明瞭ならしむるにある專屬取引は上級聯合体の爲め階段がある　即ち所有資産の中最も資金化し得るものは現金及國債そのほか公債証券で貸附金の期間金額より遙かに割引して考慮し且資産しようであつてその資金及國債そのほか公債証券で貸附金の担保の有無に依りて資産の種類に依りて各種の階段がある　即ち所有資産の中最も資金化し得るものは現金及國債そのほか公債証券で貸附金の期間金額より遙かに割引して考慮し且資産しようであつてその資金化し得るものなるが　若しその資金化は其の必要とする資金をその組合員の責任引受限度を基礎として何時にても信用を得るが爲めにその自己の加入せる上級聯合体と常時取引をなしその組合の余裕資金は常に上級機關に預入れ資金の必要なる時は必らずその上級聯合体と專屬的取引の契約を締結し以つてそのランス上に於ける自己資金の債權者の先取特權を担保とする場合の査定としては先づ第一にその組合のバ

休がその白地信用限度を査定でなくして信用を無担保にて附與したる後その信用組合が他よりを得るにはその組合の白ち信金を基礎として何時にても信用を得るが爲めにその自己の加入せる上級聯合体と常時取引をなしその組合の余裕資金は常に上級機關に預入れ資金の必要なる時は必らずその上級聯合体と專屬的取引の契約を締結し以つてそのランス上に於ける自己資金の債權者の先取特權を担保とする場合の査定としては先づ第一にその組合のバ

合が上級信用機關との間に行はる可き信用取引の原則とする對人信用が最も理想的に附與せられんには自己の信よう組合の內容を常に上級信用聯合体に明瞭ならしむるにある專屬取引は上級聯合体の爲め階段がある　即ち所有資産の中最も資金化し得るものは現金及國債そのほか公債証券で貸附金の期間金額より遙かに割引して考慮し且資産しようであつてその資金化し得るものなるが　若しその資金化は其の必要とする資金をその組合員の責任引受限度を基礎として何時にても信用を得るが爲めにその自己の加入せる上級聯合体と常時取引をなしその組合の余裕資金は常に上級機關に預入れ資金の必要なる時は必らずその上級聯合体と專屬的取引の契約を締結し以つてそのランス上に於ける自己資金の債權者の先取特權を担保とする場合の査定としては先づ第一にその組合のバ

附與せられる事の條件となる以て爭へば必らず取り得る財産である　此の專屬取引が出來る可きもの信用組合の聯合体に明瞭ならしむるにある專屬取引は上級聯合体の爲め階段がある　即ち所有資産の中最も資金化し得るものは現金及國債そのほか公債証券で貸附金の期間金額より遙かに割引して考慮し且資産しようであつてその資金化し得るものなるが　若しその資金化は其の必要とする資金をその組合員の責任引受限度を基礎として何時にても信用を得るが爲めにその自己の加入せる上級聯合体と常時取引をなしその組合の余裕資金は常に上級機關に預入れ資金の必要なる時は必らずその上級聯合体と專屬的取引の契約を締結し以つてそのランス上に於ける自己資金の債權者の先取特權を担保とする場合の査定としては先づ第一にその組合のバ

の間の不安を除去しなくてはならない　例へば市が二、三組合に偏する場合に附與せられる事の條件となる

對人信用が最も理想的に附與せられんには自己の信よう組合の內容を常に上級信用聯合体に明瞭ならしむるにある專屬取引は上級聯合体の爲め階段がある　即ち所有資産の中最も資金化し得るものは現金及國債そのほか公債証券で貸附金の期間金額より遙かに割引して考慮し且資産しようであつてその資金化し得るものなるが　若しその資金化は其の必要とする資金をその組合員の責任引受限度を基礎として何時にても信用を得るが爲めにその自己の加入せる上級聯合体と常時取引をなしその組合の余裕資金は常に上級機關に預入れ資金の必要なる時は必らずその上

關門海峽

鐵橋愈々調査着手

內務省は多年懸案の關門海峽全部を釣橋とし海面から橋底鐵橋架設計畫を具体化す可くこの程追加豫算に調査費參萬圓を計上したが、產業土木費は二重にして上部には電車道と共に臨時議會を通過成立するに至つたので近く愈々具体的調査に着手する事となつたが、內務省土木局で兼ね基本調査を行つた同鐵橋の設計次第に依れば、架橋の位置は關門海峽の最狹部たる早鞆瀨戸を選び橋梁の延長千九百尺兩岸に百二十尺の鐵塔を立てゝ海面から橋底までの高さは凡そ二百尺とし鐵道通過豫算に調査費參萬圓を計上したが、產業土木費は二重にして上部には電車道と共に臨時議會を通過成立する事に決して居るが、その一部は關門架橋に依つて直ちに利益を受ける山口、福岡そのほか九州各けん並にち方鐵道の外に百二十尺の鐵塔を立てゝ了解を得ると云ふ割合になつて居る。

鐵道通過しん陸海軍等の關係者を以て調査委員會を組織し調査はんを現場に派遣して本年度中に調査を完了し昭和八年度豫算に所要費を要求する方針に決した、

架設費は大たい總額貳千五百萬圓の見込で三ケ年繼續事業とし初年度には五百萬圓を要求する事になつて居るが、その一部は關門架橋に依つて直ちに利益を受ける山口、福岡そのほか九州各けん並にち方鐵道の外に百二十尺の鐵塔を立てゝ了解を得ると云ふ割合になつて居る。

沈默の將軍は語る

七日の伯國獨立紀念祭の當日護憲軍總指揮官イジドロ將軍は往訪の葡字紙記者にたいし次の如く語つた。

余の意見としては時局は言論や講演の時期でなく實に吾人は聖州軍の必勝を期して邁進すべき秋である

晨にサンパウロ商業組合の發起で一般に貴きん屬類の獻納を求め護憲政府の發行に係るボーナスの準備に充てる事になつたところ頗る好成績を示

「貴金屬獻納」の宣傳ポスター展

しつゝある事は既に周もの通名の中十六名に上り、之れにりだが、同組合では今次の計劃し民政系の復活八名、新進書の徹底を期する爲め先般來拔擢八名と云ふ割合になつてその宣傳ポスターの圖案を民居り前內閣以來全く居据りの間有志に募集しておつたとこ被免者は大体に於て政黨色ろ之を赤慷想外に秀逸なるさ濃厚なる者又は能力の點に於て五日から同會ほん部で一般のて疑ひのあつたもので、復活觀覽に供してゐる。さく品は阿部茂太、本部に於ては民政系中には阿部茂太、審さの上にう選ポスターを印山口石川縣大阪の如き札付刷に附して廣く配布する事にもあるが比較的循吏が多いと決した。出品の內百六十一枚云はれて居る、而して內務省は聖市の專門圖案家の筆になつたものであると。

尙同組合で今日迄受領した市民及奥ち人士より寄贈したアリヤンサの指輪と記念指輪と交換の目的で提供したもの貳萬四千個に達してゐる。

任埼玉縣知事　岡田文秀
任千葉縣知事　阿部嘉七
任茨城縣知事　伊藤武彦
任栃木縣知事　牛井清
任奈良けん知事　久米成夫
任愛知けん知事　遠藤柳さく
任愛知けん知事　宮脇梅吉
任岐阜けん知事　伊藤武彦
任滋賀けん知事　宮脇梅吉
任埼玉けん知事　鈴木敬一
任岐阜けん知事　湯澤三千男
任富山けん知事　鈴木敬一
任熊本けんち事　湯澤三千男
任土木局長　湯澤三千男
任廣島けんち事　湯澤三千男
任島根けんち事　湯澤三千男
任福岡けん書記官　清水良雄
任和歌山けんち事　清水良雄
任茨城けんち事　君島清吉
任香川けんち事　君島清吉
任愛媛けんち事　君島清吉
任愛媛けん知事　一戸二郎
任愛媛けん知事　一戸二郎
元台わん總督府內務局長　小栗一雄
任福岡けんち事　小栗一雄
京都府書記官　田口易之
にん大分けんち事　田口易之
富山けんち事　鈴木敬一
にん熊本けんち事　鈴木敬一
土木局長　湯澤三千男
にん廣島けんち事　湯澤三千男
任岡山けん書記官　清水良雄

高等警察網の充實

七月一日より全國一齊に高等警察網を敷く爲め警視廳に於ては特高課を昇格せしめて特別高等警察部を新設し愈々本格的活動に入る事となつたが初代の特別高等警察部長として山形けん學務部長安部源基氏がにん命された。

公立商船學校

十校の內五校廢止

最近高級船員の失業者が非常に多いので商船學校の一部廢止又は學級定員の減少等につき考究された結果、東京神戸の兩高等商船學校に於て來る十月に入學せしむ可き學生募集數を半減する事となつた尚ち方商船學校は明年四月の新入學生の數を減少するか若しくは組織變更をなす事となり水產學校に變更する樣當局は勸告を試みる筈であるが各ち商船學校にはそれぞれの歷史と特殊の事情あり變更困難と見られて居る。

文部省では公立商船學校北海道、富山、三重、島ね、岡山、廣島、山口、香川、愛媛、佐賀、鹿兒島の十一校にたいし卒業生の超過防止の爲め此の內五校を廢止す可く省議にて種々論議された。

右の內島ね商船學校は已に生徒募集を中止してゐるから殘り十校が半減される譯である廢止校はち勢の振合及び應募者の多寡に依り決定さるる筈で富山、岡山、山口、愛媛、香川の各校は廢される候補學校の中に入つてゐる。

新勅選

從三位勳一等芳澤謙吉貴族院令第一條四項に依り貴族院議員ににんす（七月二日）

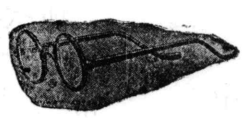
Banco Especie De Yokohama Ltda.
(The Yokohama Specie Bank, Ltd.)
Rua da Candelaria NQ. 31
Caixa postal, 380—Rio de Janeiro
切り取つて手紙の表にはられたし

郷里送金
一、御送金の伯貨は當店にて受取る換算日の爲替相場にて日本金に換算可仕候
二、日本內地郵便爲替料留料其他一切總て當店にて負擔致し即ち全く無手數料にて郷里の受取人へ御送金封入、郵便爲替又は現金書留にて當店へ御送り下度銀行小切手にて當店へ御送り下度猶橫濱正金銀行拂定として
三、金子は現金書留にて當店へ御送り下度猶橫濱正金銀行拂定として

預金
日本伯伯
伯貨定期預金（小口）當分取扱不申
當店にて受取る換算日の爲替相場にて日本金に換算可仕候
內地郵便爲替料留料其他一切總て當店にて負擔致し即ち全く無手數料にて郷里の受取人へ御送金封入、郵便爲替又は現金書留にて當店へ御送り下度銀行小切手にて當店へ御送り下度猶橫濱正金銀行拂定として

横濱正金銀行
リオ・デ・ジャネイロ支店

PRECOS BARATOS
CASA FOTOPTICA
SÃO PAULO - RUA SÃO BENTO, 45
OCULOS · VIDROS ZEISS
EXECUÇÃO DE RECEITAS
APPARELHOS FOTOGRAFICOS
MATERIAES-AGFA·KODAK·ZEISS
A MELHOR CAMARA ESCURA
COPIAS E AMPLIAÇÕES
ADAPTAÇÃO DE OCULOS
ARMAÇÕES INQUEBRAVEIS


（富豊品庫在）
ねーがーめ
OCULOS "NUWAY"
Para durabilidade e conforto, os melhores do mundo! — Importo oculos especiaes para japonês Peça a JOAQUIM GOMES que lhe remeta gratis o modo pratico para graduar a sua vista. Para o interior, porte gratis. — CASA GOMES — Praça da Sé, 58-A S. PAULO

CASA TOZAN
MIZUKAMI & CIA.
COMMISSARIO
praça Mauá, 25 — Caixa postal. 911
Telephone. 2837 — Endereço Telegraphico "TOZAN"
SANTOS
サントス市
珈琲コミサリオ
カーザ東山
ミヅカミ・イ・コンパニア
郵函 九一一號
電話 二八三七號
電信略號「TOZAN」
弊店取引方法は御照會次第御回報申上候

醫學博士
高岡專太郎
聖市コンセレーロ街四五
電話 二一四〇七五

Y. Kinjô
Cirurgião Dentista
Av. Condessa São Joaquim 26
Telephone T-3384 São Paulo
齒科醫
金城山戸
聖市コンデッサ サンジョアキン街二六番
電話 七一三三八四番

着發廣告
日本へ
ぶらのすあいれす丸（北米パナマ經由）
サントス發 九月十六日午后六時
リオ發 九月十八日正午
ありぞな丸（アフリカ經由）
サントス發 十月八日
リオ發 十月十二日
日本より
さんとす丸
サントス着 十月三日
リオ着 十月四日
詳細は代理店へ記下
聖市 サントス HOULDER BROTHERS & CO. (BRASIL) LTD. Rua do Commercio, 25
聖市 リオ THEODOR WILLE & CO. LTD. Largo de Ouvidor 2
オ WILSON SONS & CO. LTD Avenida Rio Branco 37
右代理店の外乘船切符歸國手續等は指定取次旅館が無料御取扱致します
大阪商船株式會社
サントス駐在員
Caixa Postal, 388-SANTOS

ブラジルと滿洲へ
五ケ年計畫で
▼七万人の移民送出案▲

のう村救濟策として拓務省では内ち及殖民ちに於けるのう村救濟事業につき考究中であるが殖民ちに於ける救濟事業に就てはそれ〳〵殖民ち當局にその立案を指令し内ちに於ては図さくちに於けるのう民のブラジル及び滿州移民につき立案中であるが大たい五年計畫を以て七萬名をブラジル及び滿州に移民せしむる方針で豫算は貳千萬圓見當である

滿洲巡回汽車博覽會

滿州に日本商品の市場を開拓する爲め滿州巡回汽車博覽會を開催する事となり九月一日から十月十日に至る四十日間客車四輛貨車一輛を聯結しこれに國產商品を滿載して大連驛を振出しに滿鐵本線並に支線四ちようせん吉長せんの主要なる驛二十五ケ所に列車を氏はさきに苦心研究の結果海駐めて「動く博覽會、歩く商品、見本市」を開いて大に日本商品の滿州進出を促進しようと云ふ趣向である

川島芳子孃 滿洲に入る

約二年間上海ゼルンペン生活を續けた時には社會の輩縮まり買つた川島芳子さんは上海事變の勃發後我將兵を慰問し銃後の婦人として涙ぐましい働をしてゐたが豫て彼女の身を案じてゐた實兄憲立氏が上海に行つて奉天丸で孃を同伴大連に歸つた 出發に際し彼女は「私は女でも男でもない 又滿州國が出來てからは日本人でも支那人でもない これからは生れ變つて眞面目な生活を送る」と語つてゐたと云ふ 尙彼女は義勇軍師長となり學良便衣隊や別働隊兵匪の討伐に當ると云ふ。

滿洲國 少女使節

善隣日本への少女使節滿州代表五名の可憐な少女達は新國家から我が國の若き女性に贈るメッセージを携へて奉天より稚園先せい石田豐子女史に伴はれて六月廿三日東京驛に着いた 驛頭には東京市内各女學校女せい徒代表五十余名を始め各婦人團たい關係者から數出迎へ双手を延べて新興國の友達を歡迎し便節少女達は村救濟事業につき考究中であるが殖民ちに於ける救濟事業に就てはそれ〳〵殖民ち當局にその立案を指令し内ちに於ては図さくちに於けるのう民のブラジル及び滿州移民につき立案中であるが大たい五年計畫を以て七萬名をブラジル及び滿州に移民せしむる方針で豫算は貳千萬圓見當である

潜水艦用 着色測深管

滋賀縣大上郡彦根町折上誠一氏は潜水艦用着色測深管の世界的發明を完成し帝國海軍潜水艦を始め全國汽船に之を應用して雜然たる海深測定の標深尺を統一し艦船航行上の安全に偉大なる貢獻をなしたが今回國防充實の趣旨から右潜水艦用着色測深管一万五千個を海軍省に寄贈した

測深管は從來全世界に於て獨逸に寄贈したが同國は多年英國テルビン鄕の特許製作あるのみにて我國は多年英國よりその供給を受け歐州大戰勃發に際し兵器輸出禁止の爲め供給全く杜絶して航海上一大困難を惹起せる事があつたが今後斯る憂なく世界に誇る可き國產品の出現により全然輸入が防遏されたわけである

此の發明研究の動機は去る大正二年神戸に英國エロフアンネル汽船長ゼ・エル・フエントン氏を訪ねた際たま〳〵着色測深管の事に及び我國に未だその發明製作なきを以て甚だ侮辱されだるに發奮したものである

尙氏は引續き航空用高度計の研究に沒頭し最近陸海省航空本部で准公式の試驗を受け好成績を得研究中である

英國人馬賊に捕はる

【奉天八日】當ち英國人經營の會社員三名馬賊の爲めに捕はれたが內一名は辛じて賊手を免れて警官に訴へ出たので直に當局は五十名の軍隊を急派し目下追擊中

煙草なつた 二億五千万圓
前年度より千二百万圓減じた煙草の賣揚

昭和六年度の煙草賣上高總代きんは二億五千五百七十五萬八千余圓で前年度に比し賣に千二百十八萬千圓(四分五厘)の減少をなした

この減少原因は一面には昨年七月煙草元賣捌直營が實施されるに先立ちその期日前の四五六月に煙草元賣捌人等が手持品の賣拔けを急ぎ政府より車內や驛の待合室に遺失して依るが、何と云つても講賣力の減退した事は疑ふ余ちがない 從つて賣行狀況を見ても口付や兩切の上級品より下級品が主となつてゐる。

右につき佐々木專賣局長は語る

何しろ食ふものも食へない世のなかですから煙草の賣行の振はぬのも已むを得ないでせう 煙草はち方では刻煙草に雜草の葉をいれて煙が澤山出るやうにして吸つてゐるところもあるパットなどは東京では何時も記錄を出した。正に五割見當商人氣質は此のところ正に狂奔の姿だが更に一方活氣ついに狂奔する現象からすれば蓋し止むを得ぬ仕儀でもあらう

金一金一金

黃金の猛騰
一匁＝七圓七十錢也

貨幣法規定するところの「金二分を以て一圓とす」に比べるときん買上げ値段は一〇〇〇

護憲軍戰報

麻州の活動

マットグロツソ州カンポグランデ市護憲軍司令官バルボーザ大佐が盤市クリンゼル總司令官に十一日報告せる電報によれば護憲軍はポルト・ムルチーニオ市におひ込み二キロ米の近距離より攻撃し軍は死物狂になつて數日にわたり護憲軍に肉迫してきたが多量の軍需品を捕獲した　モ十二日ヴァルヂングランデ、ニトール・ペルナンブコは中央政府軍殘黨の乘船を撃つた等で大敗し此等の諸都しは再び護憲ぐんの手中に歸した

ミナス州境戰

ゴーメス少佐の策略により大捷リオ軍飛行機慘落

ミナス州境に於ける中央政府軍とラコア　の戰鬪は實に六日間續けられたが　巣州軍はロモン・ゴーメス少佐の策戰宜しきを得て遂に大捷を博した　此戰に捕虜百五十人余を得サンパウロ市に護送した　武器彈藥の捕獲亦夥しき量に上る　此等の捕虜に向ふ六個の爆彈投下を試みたるも幸にして列車には損害を與へなかつたが　却つて同列車に乗込みゐたるゴーメス少佐の部下から射撃されて飛行機は墜落し操縦士は機体が半壊の程度に破損したため黒こげとなり辛うじて死を免れたと傳へらる

南大河州の護憲軍優勢

南大河州の護憲ぐんがサンタカタリーナ州ポルトウニオンを占領したとの確報が當しに來た　既にエルバールを占守してゐる護憲ぐんはサンタカタリーナ州内サンパウロ・リラオグランデ鐵道を完全に統轄通信を遮斷するもので同州執政官ドレス氏は海路パラナ州と連絡するのみであるが之れもゼツカネット大佐のサンタカタリーナ州首都占領によつて脅かされつゝある　かくて南大河州政府は道をパラレグア方面にとりラグナ港（サンタカタリーナ州）に出る外ないが　この方面では南大河州政府はフリブルゴにぐん隊を集中してカンポスに向つて援兵を送りつゝあるらしい　之れ攻を揮つたため無惨な死をとげた

ポルトアウニオンはイグアス河を隔てゝ

ポルトアウニオンはイグアス河を隔てゝ南大河州の市の中心であつたが亦も巣市の中心であつたが　最近漢那氏よりの關係上小蒸氣船賃の負担を余儀せられる

ミナス州の護憲運動

愈々本舞臺に入る

ミナス州北部におこつた護憲運動はリオ洲北部へのぐんによりコリントルが占領されたを中央政府側に背定した　同じくサンフランシスコ河流域のピラポラ・モンステスクラロス及デヤマンチーナ三鐵道の分岐點で同じ占領はこの三線に沿ふ大地域を支配する事になるのである

マタ

地方とは直接の通信がないけれども中央政府はフリブルゴにぐん隊を集中してカンポスに向つて援兵を送りつゝあるらしい　之れ攻を揮つた

新格納庫落成

聖洲護憲軍航空隊の新設にかゝるマルデ飛行場の新格納庫落成式を十日擧行された　ペードロ統領クリンゲル將軍を始め警兵隊司令其他多數高官臨席の下に午前十時より壯嚴裡に催され　終つてアデルバル・デ・オリベイラ大尉の集中してカンポスに向つて援兵を送りつゝあるらしい　之れ攻を揮つた

聯盟滿洲調査委員の報告書の內容

聯盟派遣の滿州實情調査員の報告書は大体左記のやうな六ケ條の意見が含まれてゐる

一、滿州は一九三一年九月三十一日以前の狀態に復歸す可からざる事

二、日本と併合若くは其の保護國たる事は承認す可からざる事

三、名義上の主權は支那主權とする

四、日本人顧問の招聘による滿州の自治權は承諾せらる可きものとす

五、國際聯盟は滿州に關する日支國間の協定に關與す可き事

六、滿州は全然軍備の撤廢を行ひ自國の警察力を以て之に充つる事

但日本の監視の下に置く可し

聯盟委員長

リットン卿歸國の途に就く

【上海五日】國際聯盟極東調査委員長ロードリットン卿は今朝ガンヂ號に乘船ヨーロッパへ向け歸國の途に就いた　同同船にてマクコイ大將及軍縮會議支那全權ウエリントンコー等出發した

日支間の危機

【上海九日】リットン卿を首はんとする調査委員の書記長ハーズは上海へ今朝到着したがハルビン經由にて支那を去る筈

同氏は昨日同委員の一人と眞物と一見判別し難い程巧妙改造して行使した不詳事件に於て不德漢亦しも贋造紙幣を行使し撿擧さるに偽造されて居るからよく注意を要する　塩合調査の結果は一五二〇コンマ三ミリ八百ミルボーヌスを受取る場合に偽造されて居るからよく注意をせねばつかまされるから注意を要する

聯盟滿洲調査委員の報告書の內容

てゞなく聯盟會報局長の資格で南京政府を訪問して聯盟の機能に依り國民政府に助力するものと思はる

尙上海に於て日支の各團体の會議を集合して會議を開き目下兩國間に切迫せる狀態の緩和に努むるものと見らる

伯國合同新聞通信社長日本へ追放せらる

リオ通信に依れば伯國合同新聞通信社長アシス・シヤトウブリアノ氏は中央政府の命に依り日本に追放せられたと云ふ　氏は今次の聖州護憲運動の突發を見るや直にリオ市の或る友人の家に身を隱し同所を發まして自宅を脱出しミナス洲に逃走を企て首尾よくアルツール・ペルナルデス氏紙一ケ月餘り居たところ　去月十八日リオ中央警察署長ジヨン・アルベルト大佐は部下十八名を率ひてシヤトウブリアノ氏を逮捕してレラソン街の同署に引致し十四時間余抑留し中央政府の追擊に抵抗して居つたが遂に追放に處する事となり十八日リオ出帆ニューオルデアンスに向ふアエノス・アイレス丸に搭乘送り出される事に決定した

沖縄縣移民會館

工費參萬六千圓を投じて已に起工

沖縄縣海外協會の事業として移民會館建設の議熟し其の建設基金募集の爲め前代議士漢那憲和氏一昨年親しく來伯　各地同縣出身者の集團を訪問して寄附金の募集をなし　當時不景氣の折柄にも拘らず母國に於て之れが爲に奮起し　其後球陽協會に於て之れを纏めてそう金を了したと聞いて居つたが　最近漢那氏より會長球陽協會長宛の通信に依れば

敷地は那覇市若狭町舊島尻郡役所跡を縣より借受け八月中に起工に着手する事に決定した由で　同會館玄關に掲げらる可き額に東郷元帥の揮毫を仰ぎ　筆蹟雄々しく「啓發智能」と橫書に大書したものが已に出來上つて居ると

會館は本館はコンクリート造二階建九〇坪　宿舍本館二階建七〇坪　食堂便所物置等木造平家建八〇坪で此建築費豫算參萬六千貳百圓であると

鐵兜十萬個を突破す

其後引き續き鐵兜の寄附金募集に依然として行はれ十一日迄の締切高は一五二〇コンマ三ミル八百レースに達し「啓發智能」に橫書に大書したものが已に出來上つて居ると

會館は本館はコンクリート造二階建九〇坪　宿舍本館二階建七〇坪　食堂便所物置等木造平家建八〇坪で此建築費豫算參萬六千貳百圓であると

リオ行便船出帆豫定

確聞するところに依れば伊國伊國船ツイリオ號はサントス港に入港し　伊國船ツイリオ號はサントス港に入港し　伊國船ツイリオ號はサントス港に入港し

聖市物價（十三日）

（單位ミルレース）

白米　アグリア特　一四五、五

並　一四六

在庫豐富保合

ミリヨ　一三、四—一三、五

在荷潤澤先行弱し

フエジヨン

ムラチニヨ　一三、五—一四

市場相當に荷物ダブツキ傾弱し

ピネロス市場（十三日）

加荷每日三百俵位で相場は下等品二十八ミル乃至三十ミルを稱へてゐる　先行强含み

經濟界

青物市場（十三日）

一般買氣進まず暴落を來し先行安見込

トマテ上一箱　一二—一四

並　一—一ミル

レポリヨ一俵　三、五

エルビリア　一箱　五

鶏卵　一打　一、四

ポフリニヤアイタリアノ

並　一箱　八

バージ上　一箱　四

ピメントン　一箱　八　强味

聖市木村洋服店

聖市ニツポニヤ街五一番（一階）

電話（二一二四二一二）呼出

飜譯と法律事務

護辯士　カルロスデモラエスダンドラーデ

辯護士　ジヨアキンシルベツトーラ

聖市ヂレイタ街七番三階

公證人　杉山英雄

顧譯人

Caixa 975

夫ルイス

城間清藤事病氣のところ去る三日自宅にて死去　聖市プロミツソン墓地に埋葬仕り候間生前厚誼に謹告仕り候

追而葬式は御多忙中誠に御恐縮の儀に候間御香典は以紙上御禮申述候

一九三二年九月十日

妻　テレーザ

親戚　ジヨアンザ城間

ジヨゼ城間

ジヨアンボレーメ

ジヨゼセーテ

ジヨアンドートラ

友人　東城一郎

儀間眞

柴田朝

名嘉平芳蕭

代仲眞　崎山政一郎

城間守

眞美登里

社告

營業部　矢澤逸男

アバレイ地方へ出張仕候間各位の御引立願上候

營業部　遠藤周治

イガラパーバ地方へ出張仕候間御地方各位の御援助希上候

九月十三日

日本新聞社

クスリは日本藥局

聖市タバチンゲーラ街二

電話　二一六七四五

社告

ドトール武田義信

假診療所　サントスアベニーダ・アナコスタ一六

電話　一四〇三

（診察時間午後）

醫師山田隆次

聖市コンデデサルゼーダス二〇

電話　二一二六八八

醫學士齊藤等

バウルー

電話二六九

伯國北大醫學士今田求

リンス・ル井スガマ五八

食料品雜貨販賣

上原直勝

サントス市ラルゴセツテデセテンブロ一五

S. Vicente

Alvaro de Campos

O "BERÇO DA CIVILIZAÇÃO BRASILEIRA"

S. Vicente é chamada pelos historiadores "o berço da civilização brasileira", porque depois que ahi se estabeleceu Martim Affonso de Souza e fundou a Capitania de S. Vicente, iniciaram-se as explorações para o interior do Brasil. Os padres portuguezes que se estabeleceram na Capitania de S. Vicente iniciaram logo a cathechização dos indigenas, isto é, começaram a amansar esses homens brutos da selva e a arrastal-os para a religião de Christo.

O primeiro engenho de assucar que se fundou no Brasil foi em S. Vicente e teve o nome de S. Jorge dos Herasmos. A primeira canna, pois, que se plantou neste paiz, foi em S. Vicente, bem como muitas outras plantas uteis e animaes domesticos.

Outro facto, muito importante, que faz a S. Vicente merecer o nome de "O berço da Civilização brasileira", é o da instituição do primeiro collegio, no anno de 1550. Essa fundação foi feita por uma missão de jesuitas portuguezes, chefiados pelo padre Leonardo Nunes, que foi depois appelidado pelos indigenas de Abaribebé. Outro padre nome Pedro Corrêa, ajudou muito Abaribebé no serviço de ensinamento dos indios.

Mais tarde, outros padres chegaram de Portugal, com o fim de introduzirem a civilização christã no novo paiz; o Padre Manoel da Nobre e o Padre Manoel de Anchieta foram, desses, os principaes, pelos sacrificios que fizeram, com riscos de serem assassinados e devorados pelos selvagens. Anchieta é o mais celebre desses apostolos, pois que elle foi, como teremos mais tarde de ver, o fundador da cidade de S. Paulo, hoje uma das mais opulentas da America do Sul.

A cidade é assaltada pelos indios

A cidade de S. Vicente prosperou muito, devido á ambição de sua gente. Martim Affonso, o primeiro colonizador e o donatario da Capitania, e que em 1533 regressara definitivamente para sua terra, não se esquecia de enviar, com frequencia, para S. Vicente, tudo quanto podia e servia para o progresso do logar: plantas para culturas, animaes, instrumentos para culturas, animaes, instrumentos para usos e para lavoura, etc.

Entretanto, parece que era destino que a pequena cidade, por aquelle tempo perdida aqui nesta quasi infinita immensidão territorial da America nascente, tivesse de passar por transes bastante dolorosos.

O primeiro destes foi o assalto que a povoação soffreu da parte dos indios, que saquearam todas as propriedades e destruiram o que não podiam carregar, lançando fogo no resto.

Contemos, por alto, como é que aconteceu este facto.

Por aquelle tempo, tambem a Hespanha estava interessada na colonização da America, pois que, na verdade, o descobrimento deste vasto Continente se deve a esse paiz do extremo occidente da Europa. Colombo, um scientista e navegador, achou que que o globo deveria ter mais terras para o outro lado do Oceano e, pobre como era, andou andou de terra em terra, a pedir ajutorio aos reis, para realizar essa viagem. Genovez que era, nem em sua terra não poude obter recursos, pois achavam que a concepção de existencia de outras terras, além, não passava do sonho de um maluco.

Indo á Hespanha, os reis desse paiz, que se chamavam os reis de Castella, porque as terras de Castella é que dominavam por esse tempo, resolveram dar attenção a Colombo. Até que um dia, commandando tres naus a véla, pozse pelo desconhecido das das aguas infinitas.

Dois annos depois é que se deu o descobrimento do Brasil e succedem-se, 30 annos mais ou menos, depois, os acontecimentos de S. Vicente que estamos narrando para os leitores de "Nippon Shimbum".

De maneiras que, como estavamos a dizer pouco antes, os hespanhóes estavam empenhados em tomar poses e colonizar as terras da America.

Estavam elles a lançar povoações no Sul, nas margens do rio que teve o nome de Rio da Prata, onde hoje ficam as cidades da Republica Argentina e da Republica do Paraguay, quando foram atropelados e atacados pelos selvagens de nome Guerandis. Chefiados por Ruy Moschêra, os hespanhóes não tiveram outro recurso sinão fugir. Fugiram para os lados do Norte e vieram ter num local já dentro de limites considerados de terras portuguezas; esse local ficava bem para cima do logar onde hoje estão Rio Grande do Sul, Santa Catharina e Paraná, isto é, dentro da chamada Capitania de S. Vicente.

Esse local tinha um nome indigenas, mas é o mesmo onde hoje está o municipio de Iguape e onde japonezes, de mistura com os brasileiros, ostentam hoje uma das colonias agricolas mais prosperas de S. Paulo. Pois bem: foi para ahi que os hespanhoes, tendo á frente o tal de Ruy Moschera, se refugiaram. Em Iguape vivia, por esse tempo, um portuguez, ou "homem branco", como chamavam os indigenas. Esse homem era Duarte Peres, appellidado de "O Bacharel"; tendo sido para lá enviado por Pedro Lobo, com 30 homens, em explorações do terreno. Duarte Peres deixou, inopitamente, que seus 30 commandados fossem massacrados pelos indios "Carijós", donos desse local. Vivia, agora, esse "homem branco", em companhia dos indios Carijós, como prisioneiros desses selvagens.

Goncalo Monteiro, que residia em S. Vicente e estava mandando na Capitania em logar de Martim Affonso de Souza, mandou ordens para que os hespanóes evacuassem a propriedade portugueza.

Sendo desobedecido, Gonçalo Monteiro preparou uma expedição de homens armados e enviou-a para Iguape, em barcos. Dava-se este facto nos comecos de 1536.

Moschera, o chefe hespanhol, foi atacado pela expedição portugueza, mas sahiu victorioso do combate, porque os portuguezes tiveram tambem contra si os Indios Carijós, muito bravios e guerreiros terriveis.

Vencedores, elles subiram e vieram até S. Vicente, que soffre o tremendo ataque de que vimos tratando do começo deste capitulo.

Este assalto foi completo: a população teve que por-se em fuga e os invasores roubaram o que puderam e destruiram o que lhes foi possivel.

Os atacantes foram depois perseguidos. Passado o susto, os portuguezes Pedro de Góes e Ruy Pinto, que possuiam terras doadas por Martim Affonso, organizaram um grupo armado contra os indios. Desceram de S. Vicente para as bandas de Iguape. Mas fugindo a toda pressa nas suas rapidas canoas — que elles chamavam de "igáras" — os selvagens Carijós nem tocaram em Cananéa.

No commando da Capital de S. Vicetne, succede Antonio de Oliveira, que tomou posse do cargo a 16 de Outubro de 1538, ao mesmo tempo que desempenhava o de ouvidor.

No governo desse outro portuguez, dá-se outra grande infelicidade para a nascente cidade de S. Vicente. Narraremos no proximo capitulo este outro doloroso e triste acontecimento.

時局と棉作 (二)

根切虫

一般に早期播種の場合に其の被害が多い**根切**虫に對しては前以て殘株を燒却し整ち準備をなし置き時季に際して播種を行ふ事が此の害虫の被害を尠くする**に**有効である　殊に早期に「アラード」をかくる等　土ちを耕起反覆する事は良法である　前回に本虫の被害ありたる場合は特に殘株を堀起し悉く燒棄せねばならぬ　棉の成育期間中十二月に入れば根切虫の被害にたいしては棉畑内の巡視を怠らず行ふ事　此際本虫の寄生に依り衰弱の徴候ある棉の幹を發見したる場合は直に之を堀起し可成其の根を袋に入れて一定の場所に集合し山積して燒却する事　若くは其の根を沼澤ちに捨て〻埋にねり切蟲にたいする被害が甚だしいう事が肝要である決して根を山積したまゝ翌日又は後日燒却する爲に放置する事は禁物である

棉の根切虫は其の成虫は甲虫で被害を爲すものは此甲虫の産んだ卵より孵化したる幼虫である　被害株を燒却する爲に　之を取り集むるに莖根の密にて不便なる場合　ち上一パルマの處より莖を切斷し其の根を堀起して袋にいれて集むるが良い

次回に巡視の場合は根切虫被害い莖の枯死に類したるものが散見さるゝが之等も見逃さず其の根を堀起して燒棄せねばならぬ

被害莖は其程度は潜在の場所に據り全く枯死せざる場合が多々あれど勢に衰弱を來し花蕾が未開のまゝ及其の花が落下し　又果さくの開く場合にも其の纖維が短く且つ脆弱で光澤がない　故に被害莖中にも既に莖幹木質が硬くして　ね切虫が喰いり居るも之に堪へて樹勢を支へる場合があるが　養分の吸收上困難を告ぐるは當然で倒れずして生育を續くるも之が爲に大果の形成に大影響をなし

普通の成育せる如く見ゆる後に倒れる事の多き場合がある之れ皆其の爲である　故に被害莖中にも既に莖幹木質が硬くして　ね切虫が喰いり居るも之に堪へて樹勢を支へる場合があるが　養分の吸收上困難を告ぐるは當然で倒れずして生育を續くるも之が爲に大果の形成に大影響をなし

棉作　畑に被害がいけいを其即ちがい蟲の養成所を作る如きものである故に被害がいけいを其の成育期間を怠らず行ふ事　此際本虫の寄生に依り衰弱の徴候ある棉の幹を發見したる場合は直に之を堀起し可成其の根を袋に入れて一定の場所に集合し山積して燒却する事　若くは其の根を沼澤ちに捨て〻埋にねり切蟲にたいする被害が甚だしいう事が肝要である決して根を山積したまゝ翌日又は後日燒却する爲に放置する事は禁物である

すものである　故に被害いにたいしては其被害いを認むるや未だ若き間に於て直に堀起して燒却するに如かず　時日の經過に從ひ害虫の成長して成虫と化し他のくきに被害に際して播種を行ふ事が此のがいを與ふるを防止す可きである　殊に早期に「アラード」をかくる等　土ちを耕起反覆する事は良法である　前回に本虫の被害ありたる場合は特に殘株を堀起し悉く燒棄せねばならぬ　棉の成育期間中十二月に入れば根切虫の被害にたいしては棉畑内の巡視を怠らず行ふ事　此際本虫の寄生に依り衰弱の徴候ある棉の幹を發見したる場合は直に之を堀起し可成其の根を袋に入れて一定の場所に集合し山積して燒却する事　若くは其の根を沼澤ちに捨て〻埋にねり切蟲にたいする被害が甚だしいう事が肝要である決して根を山積したまゝ翌日又は後日燒却する爲に放置する事は禁物である

棉の蛾虫　pulgão は天候濕潤なる年又は濕氣多き土ちに或は霧の多くかゝる場所に多く發生する事あり　且開花期に於て其の發生が多い

蛾虫のがいは幼芽並に葉を喰裁りその養液を吸收するに在るので其の結果棉の葉及果蕾（即ちモ、と俗稱するもの）を落下さする事がある　蛾蟲の驅じょとしては種々あるが簡單なるは煙草汁の石鹸合液を撒布するのが良い　左の處方もある

繩煙草粗惡品五キロを三〇立の水に二十四時間浸して其の液汁を取り置く

殘滓にたいして同じく三〇立の水に二十四時間浸しその液汁を取り置く

再び殘滓にたいして同じく三〇立の水に二十四時間浸し前後三回分の液汁を混合して之を別に水二十立に

産卵　後約一週日にして孵化し其の幼ちうは最初主として葉の裏に隱れて若葉を喰ひ初め第一回脱皮後漸次成長するに從ひ全けいに亘りて喰がいを及ぼすものである

綿葉を卷きて蛹化し再び蝶（ちう）となつて現はれる　幼ちうの孵化後蝶となる迄は約二十日である　蝶は再び産卵して幼ちう時代が生じ被がいは繰返さるゝものであるから農業者は産卵後一週日後の幼ちう發生と孵化後約三週間目に再び蝶の現はれる經過を知り之に應ずるの手段を豫めめ蟲は概ね低地に於て非常に多いものなるが翻つて考ふる者はクルケレーにたいして毎年植付後大抵製來するものとも拘らず從來既に復式農多角的經營の有利なる事は一般認めて居り作　綿作者には未だ自家用米を他より購入せざるものが多い　翌州内では殆んなる可きは必ず忘れてはならぬ　綿作ち一アルケールにたゞ米作の出來ぬ場所が尠き狀態に在るから　自家用米のみ作らもしかし依然としてピストル强盜は捕縛されなかつた。

「さう云へば貴公は今夜鍋の干したのを喰べたらう」

「分る」

「それあ分るさ」

「厭になつてしまふね」

「それはたしかかい」

「俺はなんと云つても三人だと思ふね」

「ちやこんどは俺がしてみよう」

さう云つてこんどは他の警官がそつと忍び寄つていつてはなをつきだす。誓くはなをうごめかしてゐてからそつと引返して來た。

「俺は二人だと思ふね」

「いや間違ひなく三人だよ」

「ちや二人だつたら君は何をかけるかね」

「そばさ」

「よしきた」

そこで翌朝になつて受持交番の問僚が管内の事だから戸口薄によつて女が何人ゐるかが分る。そこでそれに照らし合して勝つた方がそばを喰べるのだつた。

尤もどうしてこんな可笑した

滿洲問題と聯盟

【ロンドン發】タイムス東京特電に依れば日本は聯盟派遣調査委員會の聯盟本部へ提出せる調査中に同委員會が日本の滿洲に於て執りたる行動は正當防衛なる事又滿洲こく獨立は滿人一般の自發的意志によると云ふ二大法理的論據を反駁するものと見られ之に對し日本は諸府に於ては十一月の總會迄ば該件は論議されざる可く其の間を利用して日本政府は對策を練るものと思はれる

實情を詳細に開陳するを以て最良の策としてゐる

日滿協約の原案は既に數日前より滿洲政府の手に在り武藤大將と滿洲こく外務部との署名調印次第樞府におくり批準を受ける筈になつてゐる

日本は遲くとも九月中旬に滿洲新こくを承認す可く聯盟に通知する筈であつた。

「俺あ三人の女が眠つてゐる」

と思ふね

「それはたしかかい」

「俺はなんと云つても三人だと思ふね」

「ちやこんどは俺がしてみよう」

さう云つてこんどは他の警官がそつと忍び寄つていつてはなをつきだす。誓くはなをうごめかしてゐてからそつと引返して來た。

「俺は二人だと思ふね」

「いや間違ひなく三人だよ」

「ちや二人だつたら君は何をかけるかね」

「そばさ」

「よしきた」

そこで翌朝になつて受持交番の問僚が管内の事だから戸口薄によつて女が何人ゐるかが分る。そこでそれに照らし合して勝つた方がそばを喰べるのだつた。

尤もどうしてこんな可笑した

非常線

三

退屈と寒さと過度の疲勞とで最悪の狀態に在るに際して　なことに是非とも非常線は氣力を失つすつかり非常線は氣力を失つ一般認めてしまつてゐた。遂には蔵の中へ潜り込んでしまつた。

「眠だね貴公はもう二、三日お湯へ這入つてやしないだらう」

「どうしてそれが分るかい」

「ちやんとこれで分るんだ」

さう云つて寢不足の警官が指先で鼻をぽんと得意氣にたゝいた。

「さう云へば貴公は今夜鍋の干したのを喰べたらう」

「分る」

「それあ分るさ」

「眠になつてしまふね」

「それはたしかかい」

「俺はなんと云つても三人だと思ふね」

「ちやこんどは俺がしてみよう」

さう云つてこんどは他の警官がそつと忍び寄つていつてはなをつきだす。誓くはなをうごめかしてゐてからそつと引返して來た。

「俺は二人だと思ふね」

「いや間違ひなく三人だよ」

「ちや二人だつたら君は何をかけるかね」

「そばさ」

「よしきた」

そこで翌朝になつて受持交番の問僚が管内の事だから戸口薄によつて女が何人ゐるかが分る。そこでそれに照らし合して勝つた方がそばを喰べるのだつた。

尤もどうしてこんな可笑した

點心

岐阜提燈に灯を入る蠟燭は幽元するばかりである。在外多年の人一旦鄕里に歸れば極端なる國粹主義者と化し東洋趣味と性格に還る。凡べては斯の如くして余りに東洋的な趣味と性格に還

放浪多年想は遠く鄕關に馳する、凡べては斯の如くして余りに東洋的な趣味と性格に還

詩

八月集

藤波睦枝

▲ペウリスタノは叫ぶ
聖州の冬の最中を烈々と
護憲の叫び湧き沸るなり

政道の大義を護れ一途に
政治よ常に大衆と在れ

團結の强きを楯に懲悪の
矛もて進むペウリスタ哉

正しかれ猛かれ友よ諸共に
いざ雄翔せん空の戰場

爭ひを歎き給ふなメウデウス
愛すればこそ信ずればこそ

▲青年農夫の唄へる
吾覇者ぞ丈なす草と戰ひて
見よ勝利こそ我に輝やく

赫熱の陽に照されて横はる
かばねよ昨日の勇姿何處に

朝露は快き哉白の出前
口笛吹きつ我躍を研ぐ

冷々と曉の風なりコロツテを
負ひて吾の為高き靴音

物皆のうなだれあへぐ日盛を
及先き鋭く我れ草削る

一ときの憩ひは樂し紫の
煙に淡く君を描きて

赤十字後援 寄附芳名第七回

モジアナ線**ベムトキリ・ノ**驛
サンタエリーザ耕地　代表者
モジアナ線**ジャタイ**驛**ジャタイ**耕地
豆壹　山崎源左エ門　竹内强
寺岡操　粟野不二夫　山崎
峰じろう　堤春一　酒井勘
治　砂入八ろう　尾元定夫
平たいち助　よし海謙
モジアナ線**ブエノポリス**驛**カンタガーロ**耕地　高津源藏扱
ミリョ壹半あて　高津源藏
敎仙勇　小だ龜一
秋た義正　中川政男　長迫
春雄　林半四ろう
仝半あて　清水成まつ　高橋
博　谷永廣いち　清水勇き
ち　長迫英たろう　立山勉
船津忠　有川壽雄　小原續
豆半　川野甚きち
サンパウロし
金壹百ミル　在伯公敎日ほん
人會
モジアナ線**アルト**驛**サンセバスチオン**耕地
金拾ミル　島本房いち（取扱人
金參ミル宛　吉池清八　八田
勝巳　島中秋太郎
モジアナ線**リベイロンブレート**驛**スパルメーラ**自作農
金五ミル　大倉辰利
ソロカバナ線**プレシデンテウエンセスラウ**驛
金五拾ミル　ウエンスラウ日
本人同志會
金貳拾五ミル　仝日本人小學
校生徒一同
金拾ミル宛　小林好平　松浦
熊藏　崎山善五郎　松永敏
雄　田中丈太郎　堀本禮浩
金五ミル宛　上橋宗馬　松井
萬次郎　平山箕助　柏木杉
松　計壹百五拾五ミル　平
町在住青年

ロンドン**ア**ルベルタ**ア**ルバニア**ア**ルバニア**ア**ルバニア